



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月7日

上場会社名 日本ラッド株式会社
コード番号 4736 URL <http://www.nippon-rad.co.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 大塚 隆一
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経理財務部長 (氏名) 佐々木 啓雄

TEL 03-5574-7800

四半期報告書提出予定日 平成29年8月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	635	0.3	78		77		73	
29年3月期第1四半期	633	1.0	14		26		214	

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 70百万円 (%) 29年3月期第1四半期 208百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	17.23	
29年3月期第1四半期	50.74	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	2,472	1,276	51.3	296.28
29年3月期	2,529	1,368	53.8	317.72

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 1,268百万円 29年3月期 1,360百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		5.00	5.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		0.00		5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,650	13.2	250	31.8	260	31.4	198	51.7	46.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期1Q	4,505,390 株	29年3月期	4,505,390 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期1Q	223,866 株	29年3月期	223,866 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期1Q	4,281,524 株	29年3月期1Q	4,222,249 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社としてお約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、個人消費や設備投資は持ち直しの動きが継続していることから、雇用環境の改善等を背景に、景気は緩やかな回復基調であるものの、米国の政権運営や欧州の政治情勢、また、アジアにおける地政学的リスクの高まりなど、先行きは不透明な状況が続いております。

当社グループの属する情報サービス産業界においては、ICTを活用して様々なモノ、サービスを繋げることにより、新たなイノベーションを創出する政府の成長戦略を背景に、IoT(モノのインターネット化)、AI(人工知能)、Fintech(ITを駆使した金融サービス)、ビッグデータ等の技術要素が注目されており、これらを取り込みつつ、地域の活性化、企業活動の高度化、生産性の向上に資するシステムやサービスの提供が求められており、各産業分野におけるモデル構築、ルールの整備、実装が始まっております。

このような状況の中、当社グループは、テクノロジーカンパニーとして、最新技術の積極活用による新たなサービス創造及び次世代ソリューションの提供、業務提携及び販売提携の拡充、事業エリアの拡大、人材獲得の拡大と育成強化への取組みに注力してまいりました。

この結果、当社グループの当第1四半期連結累計期間の売上高は、6億35百万円(前年同期比0.3%増)となりました。利益面につきましては、営業損失78百万円(前年同期は14百万円の損失)、経常損失77百万円(前年同期は26百万円の損失)となりました。

四半期純損益につきましては、親会社株主に帰属する四半期純損失は73百万円(前年同期は2億14百万円の利益)となりました。

主なセグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

「プロダクトマーケティング事業」は、売上高96百万円(前年同期比1.2%減)となりました。これはBIツール関連商品の売上が増加しましたが、マルチスクリーンディスプレイの大型案件の納期が翌四半期以降を予定していることによるものです。また、映像関連機器において、新たに次世代マルチ情報共有会議システム「Mezzanine(メザニン)」を日本国内初の取扱い開始となりました。セキュリティ製品においては、ネットワーク可視化システムのWEB対応「NIRVANA-WEB(ニルヴァーナ・ウェブ)」の販売も開始となりました。

「ビジネスソリューション事業」は、売上高4億4百万円(前年同期比1.2%減)となりました。これは主に各業種向けの派遣常駐型システム開発及び受託請負型システム開発において、東京圏においては、受注状況は良好で技術者の稼働状況は高く安定した売上高を継続した一方、地方事業所において、一部のプロジェクトで納品後の対応が発生したことにより新規の受注活動が遅延したことによるものです。また、機械学習組入れプロダクトの提供を目指した高度エンジニアリング人材の育成も開始いたしました。

「IoTソリューション事業」は、売上高1億4百万円(前年同期比7.3%増)となりました。これは主に当社オリジナルのIoTプラットフォーム「Konekti™(コネクティ)」を投入したことにより、スマートファクトリー(先進的工場)向けソリューション提案の引合いが増加したことによるものです。

「クラウドソリューション事業」は、売上高29百万円(前年同期比1.2%増)となりました。これは主に他社クラウドを積極活用した顧客ビジネスの高度クラウド化構築支援、ネットワーク及びビッグデータのコンサルティングの提供に注力し始めたことによるものです。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は21億92百万円となり、前連結会計年度末に比べ78百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が1億26百万円、仕掛品が22百万円増加しましたが、受取手形及び売掛金が2億59百万円減少したことによるものです。固定資産は2億80百万円となり、前連結会計年度末に比べ21百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が15百万円増加したことによるものです。

この結果、総資産は24億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ56百万円減少いたしました。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は5億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ44百万円増加いたしました。これは主に買掛金が60百万円、賞与引当金が38百万円減少しましたが、その他流動負債が1億49百万円増加したことによるものです。固定負債は6億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ9百万円減少いたしました。これは主に長期借入金が7百万円減少したことによるものです。

この結果、負債合計は11億96百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は12億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ92百万円減少いたしました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純損失の計上により利益剰余金が減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は51.3%（前連結会計年度末は53.8%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末と比較して1億26百万円増加し、14億98百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは1億51百万円の収入（前年同期は1億35百万円の収入）となりました。これは主に売上債権の減少による収入2億59百万円、仕入債務の減少による支出60百万円、税金等調整前四半期純損失72百万円によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは21百万円の支出（前年同期は6億56百万円の収入）となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出20百万円によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは4百万円の支出（前年同期は53百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の借入れによる収入22百万円、配当金の支払いによる支出18百万円、長期借入金の返済による支出7百万円によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、本資料の公表時点において、平成29年5月18日の決算短信で発表しました通期連結業績予想に変更はありません。

本資料に記載されている業績見通し等将来に関する記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の業績等は様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,372,200	1,498,238
受取手形及び売掛金	688,293	428,441
製品	2,780	2,780
仕掛品	9,201	31,323
原材料及び貯蔵品	7,186	12,415
その他	216,034	249,901
貸倒引当金	△25,092	△30,964
流動資産合計	2,270,604	2,192,136
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,957	8,089
車両運搬具(純額)	12,748	11,672
工具、器具及び備品(純額)	17,781	34,153
有形固定資産合計	38,487	53,915
無形固定資産		
ソフトウェア	29,002	25,244
その他	17,572	22,277
無形固定資産合計	46,574	47,521
投資その他の資産		
投資有価証券	79,036	83,619
その他	140,758	140,634
貸倒引当金	△45,987	△45,117
投資その他の資産合計	173,807	179,136
固定資産合計	258,869	280,573
資産合計	2,529,473	2,472,710

(単位: 千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	155,525	94,755
短期借入金	28,000	50,000
1年内返済予定の長期借入金	28,200	28,900
未払法人税等	36,053	6,234
賞与引当金	53,112	14,837
受注損失引当金	383	1,933
その他	189,253	338,370
流動負債合計	490,528	535,032
固定負債		
長期借入金	19,500	11,750
退職給付に係る負債	428,268	427,745
資産除去債務	2,105	2,112
長期未払金	217,952	217,496
その他	2,519	2,023
固定負債合計	670,346	661,128
負債合計	1,160,874	1,196,160
純資産の部		
株主資本		
資本金	772,830	772,830
資本剰余金	437,909	437,909
利益剰余金	236,777	141,586
自己株式	△103,864	△103,864
株主資本合計	1,343,652	1,248,460
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	16,681	20,086
その他の包括利益累計額合計	16,681	20,086
非支配株主持分	8,265	8,002
純資産合計	1,368,599	1,276,549
負債純資産合計	2,529,473	2,472,710

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	633,952	635,706
売上原価	484,831	535,947
売上総利益	149,121	99,758
販売費及び一般管理費	163,921	178,583
営業損失(△)	△14,800	△78,824
営業外収益		
受取利息	10	43
受取配当金	252	316
持分法による投資利益	—	440
補助金収入	—	600
その他	184	176
営業外収益合計	447	1,577
営業外費用		
支払利息	1,456	417
持分法による投資損失	6,418	—
為替差損	1,952	335
その他	2,191	—
営業外費用合計	12,019	752
経常損失(△)	△26,372	△77,999
特別利益		
固定資産売却益	240,096	—
違約金収入	—	5,572
その他	80	—
特別利益合計	240,176	5,572
特別損失		
固定資産除却損	—	1
特別損失合計	—	1
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	213,804	△72,428
法人税等	1,580	1,619
四半期純利益又は四半期純損失(△)	212,223	△74,047
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△2,024	△263
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	214,248	△73,784

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	212,223	△74,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,121	3,404
その他の包括利益合計	△4,121	3,404
四半期包括利益	208,102	△70,642
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	210,126	△70,379
非支配株主に係る四半期包括利益	△2,024	△263

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	213,804	△72,428
減価償却費	7,409	8,305
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	7,009	△523
賞与引当金の増減額(△は減少)	△37,244	△38,274
貸倒引当金の増減額(△は減少)	479	5,812
受注損失引当金の増減額(△は減少)	-	1,550
受取利息及び受取配当金	△263	△359
支払利息	1,459	417
為替差損益(△は益)	14	0
持分法による投資損益(△は益)	6,418	△440
違約金収入	-	△5,572
補助金収入	-	△600
有形固定資産売却損益(△は益)	△240,096	-
固定資産除却損	-	1
売上債権の増減額(△は増加)	400,256	259,852
たな卸資産の増減額(△は増加)	△67,085	△27,351
仕入債務の増減額(△は減少)	△177,892	△60,769
その他	28,389	100,107
小計	142,658	169,726
利息及び配当金の受取額	294	378
利息の支払額	△1,308	△244
違約金の受取額	-	5,572
法人税等の支払額	△6,465	△23,859
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,178	151,574
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,112	△20,344
有形固定資産の売却による収入	666,000	-
無形固定資産の取得による支出	△4,585	△4,704
補助金の受取額	-	600
差入保証金の差入による支出	△780	△540
貸付金の回収による収入	-	4,500
その他	△649	△649
投資活動によるキャッシュ・フロー	656,872	△21,139
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△14,999	22,000
長期借入金の返済による支出	△7,050	△7,050
自己株式の処分による収入	91,400	-
ファイナンス・リース債務の返済による支出	-	△446
配当金の支払額	△16,158	△18,901
財務活動によるキャッシュ・フロー	53,192	△4,397
現金及び現金同等物に係る換算差額	△14	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	845,228	126,037
現金及び現金同等物の期首残高	706,007	1,372,200
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,551,236	1,498,238

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロダ クトマ ーケテ ィング	ビジネ スソリ ユーシ ョン	IoTソリ ユーシ ョン	クラウ ドソリ ユーシ ョン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	97,435	409,424	96,936	29,070	632,866	1,086	633,952	-	633,952
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,982	1,703	-	931	4,616	-	4,616	△4,616	-
計	99,417	411,127	96,936	30,002	637,483	1,086	638,569	△4,616	633,952
セグメント利益又は 損失(△)	2,190	99,633	△6,736	△551	94,535	△12,518	82,016	△96,817	△14,800

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国為替証拠金取引業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△96,817千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	プロダ クトマ ーケテ ィング	ビジネ スソリ ユーシ ョン	IoTソリ ユーシ ョン	クラウ ドソリ ユーシ ョン	計				
売上高									
外部顧客への売上高	96,276	404,546	104,032	29,408	634,264	1,441	635,706	-	635,706
セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,135	4,774	-	29	5,939	-	5,939	△5,939	-
計	97,412	409,321	104,032	29,437	640,204	1,441	641,645	△5,939	635,706
セグメント利益又は 損失(△)	△13,492	52,982	△7,162	252	32,579	△7,960	24,619	△103,444	△78,824

(注)1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、外国為替証拠金取引業等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額△103,444千円は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。